

聖天宮は前殿、中庭、本殿、回廊から成る宮殿様式なので「宮」が名称に入る。ちなみに、本殿が1棟のみの場合には「廟」というそう

IKOKUTABI

豪華絢爛な台湾のお宮は圧巻！

五千頭の龍が昇る 聖天宮

坂戸市 → 台湾

前殿

八卦天井
八角形が重なり合うさまが万物の広がりを表している。立体的な装饰が施されているのは聖天宮ならでは。

台湾式おみくじ
「神牌（シンフェー）」という「陰」と「陽」の木札を床に落とし、その組み合せにより吉凶が決定される

本殿

通教の最高神「三清道祖」（さんせいどうそ）が祀られている

太極天井
すべての始まりを表す「太極天井」、湯を喜んでいる装飾はとても珍しい

聖天宮のお守り
「九星守り」は生まれ年の色や性別、ご利益によって180種にもおよぶ。表に越前、裏に干支が描かれているのが「干支守り」

九星守り

干支守り

坂戸IC付近の田園地帯に、ひときわ目を引く黄色の屋根と煌びやかな装飾の建物、ここは坂戸市にある「五千頭の龍が昇る聖天宮」。中国の3大宗教のひとつである道教のお宮です。

創設者は台湾出身の唐國典大法師。台湾から宮大工を呼び、15年かけて建てられました。その広さは約8,000坪におよび、日本最大級を誇ります。

聖天宮では、陰陽や「五行」など、道教の教えにふれられます。本殿の「太極天井」は、すべての始まりを表し、前殿の「八卦天井」は、万物の広がりを表しているそつ。また、お宮の東側には鐘楼には「陽鐘」、西側には鼓樓の「陰鼓」があり、毎日15時に鐘と太鼓が各12回ずつ鳴り響きます。これらは、「始まり」と「終わり」を象徴しているそう。ほかにも豪華な装飾、お宮の屋根が黄色いこともちらりと理由がありますが、それは訪れてからのお楽しみ。また、「陽」と「陰」の木札の組み合せで吉凶が決まる台湾式おみくじや、180通りにおよぶお守りも、日本では珍しいので要チェックです。

それから何といっても注目は、

**内安の今こそ
埼玉で異国情緒を楽しもう**

海外旅行気分なら、埼玉県でも味わえるんです！ということでお、今回は埼玉の異国情緒あふれるスポットを厳選して紹介します！

埼玉の異国スポット

★トルコ @吉見町
★台湾 @坂戸市
★アメリカ @入間市

▶前殿の2階の参道には、上ることも可能

ママ～カラフルだね！

由々美・文／山口理恵（編集部）

